

■ 2) 説明 5 点

▼行事名

子どものまち “だがねランド”

▼団体名

財団法人 名古屋都市センター（協力：名古屋市立大学芸術工学部教授鈴木賢一研究室）

▼開催開始年、主な開催期間

2006年7月25日から9月3日（初の試み）

▼参加人数（ユニーク数、延べ数、大人のユニーク数）

子どもの参加人数：延べ約1,300人
スタッフ参加人数：ワークショップ、イベント開催時約10人/日、その他日1人～3人/日

▼特徴（開催場所、主催者、他の「こどものまち」と比べて）

- ・開催場所：名古屋都市センターまちづくり広場企画展示スペース（約200㎡）
- ・特徴：「自分たちでまちを制作する」、「制作したまちで遊び、考える」という点に主眼があること。
何もない空間から、ワークショップで「まち」を制作するところから始まり、最後は自分達の手でまちを取り壊し、何もない空間に戻す一連が「空間把握」の機会でもある。また、考え、体感したことを「絵画コンクール」や「作文コンテスト」で、子ども達自身が絵や文字で表現し、感じ取る機会を設けている。

▼準備（体制、期間）

- ・体制
名古屋市立大学芸術工学部教授鈴木賢一研究室の協力を得て財団法人名古屋都市センターが企画運営。
企画中心メンバー：センター職員4人、鈴木研究室学生3名
ワークショップやイベント等には、学生7人～10人程度が協力
- ・準備
打ち合わせ（構想）時より、開始までの期間2ヶ月弱。